

インターバンクの声（2016 年 7 月 12 日）

週末の金曜日に続き、昨日も欧米の株価が続伸したこともあって、思い掛けない水準までドル買い・円売りが進んだ。昨日の東京市場の早朝時点では、円売りが進んだとしても101円台中盤から後半にあった強めの抵抗線が意識されていたので、その辺りが上値の限界かと思われた。ただ、その抵抗線も午後にあっさり抜けてしまったが、それでも海外市場に移れば、102円台中盤を超えることはさすがにないと思われた。その水準すらニューヨーク市場の昼前にクリアしてしまったのは驚きだったが、全く見当外れになる日は得てしてこんなものだ。自公与党が参院選で圧倒的な勝利を収め、安倍首相が大型経済対策を打ち出す考えを示したことで、思っていた以上に海外の期待感も高くなったようだ。昨年末から何度となく追加緩和を見送り、失敗の烙印を押され続けた日銀の政策だが、ここに来てようやく財政と金融政策と協調できる場面が巡って来て、これまでの緩和見送りが一転「温存」していたとの評価に変わるかも知れない。それでも103円台中盤とされる転換点を超えるのは簡単ではなさそうなのだが。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。